



台風16号によるマニラの 被災者緊急支援のお願い

こんにちは！

フィリピンのルソン島で26日、
台風16号（オンドイ）の直撃に
よる豪雨があり、首都マニラや

周辺地域で洪水災害が発生した。台風による洪水被害者の多くの人々が家族や友人やお住まいを失いました。政府によると、10月3日までに、台風16号により、288人が死亡し、42人が行方不明となっています。全半壊の家屋は約1万437戸で、約50万人が避難し、被災者総数は約323万人を超えると予想されています。被害地では食料や服や薬や避難場所が不足しているので皆さんからの支援を必要としています。台風による洪水被害者の大多数は都市貧困層で、自らの力のみで被害から回復する力がなくて、災害の最大の犠牲者になっています。

私たちKAPS（京都フィリピン留学生会）は、この災害による最大の被害者である都市貧困層に対して、義援金を送るための募金活動を行っています。この募金活動から得られた資金は、被災者に救援活動を行っている「フィリピン赤十字」と、NPOの「ソルト・パヤタス」に寄付します。ソルトは、フィリピン・ケソン市パヤタス、カシグラハンというゴミ山周辺のスラムに暮らす人々への支援を行っています。

皆様の暖かい義援金を宜しくお願いいたします。ご協力ありがとうございます！

(www.kyotopinoyoscholars.org)